

高岡の森弘前藩歴史館協議会

令和5年度 第1回協議会 資料

令和5年12月13日(水)

高岡の森弘前藩歴史館

案件 1 令和4年度事業報告について

(1) 歴史館利用状況

区 分	人数、件数	備 考
展覧会入館者数	6,662人	目標14,000人 (47.6%)
イベント参加者	728人	流鏑馬 562人 抜刀術 (1日) 48人 古武道 (1日) 32人 ロビーコンサート(4回実施) 計86人
歴史館講座参加者	35人	1/28 第1回 16人 3/4 第2回 19人
出前講座参加者数	14人	※歴史館を会場とした展示 解説のため、来館者数に含 む
特別利用等件数	6件	6件、合計7点
合 計	7,425人 6件	

(2) 展覧会関係 (年4回の展覧会を開催)

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
武家のみやび 【4/8~7/3】	84日	弘前藩主津軽家と藩士たちの暮らしを彩った文具・屏風 などの調度品や書画を紹介します。
津軽刀工伝 【7/15~9/11】	57日	弘前藩お抱えの刀工による郷土刀を中心に、弘前藩主津 軽家や藩士たちに伝来した刀剣など幅広く紹介します。
弘前藩の知と技 【9/23~12/18】	85日	弘前藩4代藩主信政によって招かれた知識人・技術者を 中心に、産業・文化振興をもたらした知と技を紹介します。
岩木山と岩木川 【1/6~3/26】	77日	津軽の人々の拠りどころで青森県最高峰の岩木山、白神 山地を源とし津軽平野を縦貫する岩木川。津軽人にとっ て歴史的・精神的に大切な山と川について紹介します。
合 計	303日	

【展覧会入館者詳細】

区 分		武家のみやび	津軽刀工伝	弘前藩の知と技	岩木山と岩木川	計
開館日数（日）		84日	57日	85日	77日	303日
観覧者総計（人）		2,261人	2,044人	1,300人	1,057人	6,662人
一日当り観覧者数（人）		27人	36人	15人	14人	22人
市内小中学校団体観覧者数		223人	132人	12人		367人
うち学校数		3校	1校	1校		5校
有 料	人数	1,476人	1,387人	874人	650人	4,387人
	有料観覧者割合	65.3%	67.9%	67.2%	61.5%	65.9%
無 料	人数	785人	657人	426人	407人	2,275人
	無料観覧者割合	34.7%	32.1%	32.8%	38.5%	34.1%

(3) イベント開催

①ロビーコンサート（歴史館ロビー）

入館者増加を促進するため開催。アンケートを実施して参加ニーズを把握した。

○アンケート結果

参加者合計 86人中 81人回答 回答率94% イベント内容については満足・ほぼ満足

開催日	内容	様子	参加者数 (当日入館者)
4/24 (日) (第1回)	弘前交響楽団員による 弦楽四重奏演奏		20人/ 定員25人中 (77人)
6/12 (日) (第2回)	声優劇団 「津軽カタリスト」による ドラマリーディング 『あおもり物語めぐり』 ～下北・鶴田・常盤・黒石・浪岡～ 《朗読劇》		21人/ 定員25人中 (51人)
12/18 (日) (第3回)	サクソフォン四重奏演奏 サクスカルテットグループ 「ラピスラズリ」		24人/ 定員25人中 (35人)
2/11 (土・祝) (第4回)	マリンバ演奏 対馬 文子さん ピアノ伴奏 大屋 和香さん		21人/ 定員25人中 (37人)

②抜刀道演武イベント（歴史館）

抜刀道演武及び据物斬りを実演し、実演内容に関する解説。

○実施日 令和4年7月17日（日） 10:30～11:30

○津軽居合抜刀道会に委託

○イベント観覧者 48人 ※広報ひろさき、ホームページで周知



○イベントの動画がライブニュース アップルストリームにアップロード

③古武道演武イベント（歴史館）

展示『津軽刀工伝』の関連イベントとして実施。

○ 実施日 令和 4 年 9 月 1 0 日(土) 館内ロビー及び映像講話室での解説
午前の部、 午後の部 の 2 部制

○ 内容 弘前市周辺五流派による古武道演武及び古武道体験ワークショップ

○ 流派・団体名

- 1 林崎新夢想流居合（弘前藩伝林崎新夢想流居合稽古会）
- 2 ト傳流剣術（弘前市指定無形文化財 ト傳流剣術保存会）
- 3 當田流剣術（弘前市指定無形文化財 當田流剣術保存会）
- 4 當田流棒術（當田流棒術保存会、弘前大学古武術研究会）
- 5 小野派一刀流（小野派一刀流）

○ イベント観覧者 午前の部 17人、午後の部 15人 合計 32人
当日入館者数 122人

○ アンケート回収率 100%

- ・ 参加した年代 午前の部 61%が 50 歳以上 午後の部 77%が 50 歳未満
- ・ 来館が 3 回目以上 午前の部 85% 午後の部 46%
- ・ 満足度 午前の部 61% 午後の部 77%
- ・ 自由記載から抜粋 ・もっと刀剣等の催事を増やしてほしい

午前の部(古武道の解説、演武観覧)



午後の部(体験会)の様子



④流鏑馬（高照神社馬場跡）

○実施日 令和 4 年 9 月 2 5 日（日）午前の部 10:30～、昼の部 12:30～、午後の部 13:30～

○内容 天地淨射の儀（鳴鏑 4 射）、流鏑馬、笠懸、馬上武芸

○イベント観覧者 562 人（歴史館入館者：137 人）

これまでの来場者数 約 300～500 人

※チラシ、ポスター、広報、ホームページで周知。

※事前予約制無料シャトルバスを運行（市立観光館⇄歴史館）



○イベントの動画がライブニュース アップルストリームにアップロード

○アンケートを web 限定で配布プログラムに QR コードを付けて初めて実施… 19 人から回答

結果

①初めて流鏑馬を観覧…84%

②イベント前後で歴史館に入館…47%

③満足…94%

④今後歴史館に来館する可能性は「高い」を 10 段階中 7 以上選択した人…79%

⑤自由記載(抜粋)

●今回のような流鏑馬イベントは定期的に行っているのでしょうか？とても見ごたえがありました。合間で流れる馬術や合戦のプチ情報も大変勉強になり良かったです。ぜひ続けてほしいイベントです。

●今日のイベントは解説も凄くわかりやすく、とても良かったです、的に当たった時の音が最高でした、感動しました。高照神社がこんなに素晴らしい所だと初めて知りました、もっともっと全国の皆さんに宣伝してほしいと思います、また改修工事があれば協力したいと思います、本日はスタッフの皆様ご苦勞様でした。

⑤冬の Museum みゆーじあむ 5 館巡りスタンプラリー (令和 5 年 1 月から 3 月実施)

市立博物館、高岡の森弘前藩歴史館、鳴海要陶房館、市立郷土文学館、れんが倉庫美術館の 5 館を巡るスタンプラリーを冬季来館者減少対策のために企画。

令和 3 年度に試験的に市立博物館と歴史館の 2 館で実施したものの、約 2 週間でコロナ禍により約 3 カ月に渡る長期臨時休館となった。そのような中で 10 日間ほどの短期間にもかかわらず応募があったことから、対象館を拡大、実施した。

- 目的 冬場の来館者数を増やし、市内の博物館、美術館等を再認識してもらう。
- 方法 スタンプラリー台紙に各館で記念スタンプを押し、5 館全てそろったらプレゼントに応募できる。
- 賞品 特賞 1 名 米 2 キロ(青天の霹靂)、その他各館の招待券、ファイル、絵葉書等
※招待券等の施設関連以外の賞品を用意することで、新規来館者の開拓につなげる。
- 結果 応募総数 40 名
特賞 1 名、A 賞 16 名、B 賞 7 名、その他 W チャンス賞も含め、応募者全員に賞品が送られた。

(4) 講座等

①歴史館講座

冬期に 2 回歴史館に関するテーマで講座の開催。

会場の定員を通常 30 名からコロナ対応のため 20 名に。

会場：映像・講話室 ※予約制無料シャトルバスを運行(市立観光館⇄歴史館)

開催予定日	テーマ	講師	参加者数 (当日入館者数)
1/28(土) (第 1 回)	津軽の災害	小田桐睦弥 氏 (市立博物館学芸員)	16 人 (21 人)
3/4(土) (第 2 回)	霊峰岩木山への祈り	小山 隆秀 氏 (青森県立郷土館学芸主幹)	19 人 (71 人)

②出前講座等の講師派遣

実績: 1 回 14 人 (出前講座・文京地区老人クラブ連合会)

(5) 博物館実習の受け入れ

実習期間：令和 4 年 10 月 18 日(火)～23 日(日)の期間中、
歴史館は 10 月 19 日(水)～10 月 20 日(木)の 2 日間

所属大学・参加人数等： 都留文科大学 1 名 弘前学院大学 2 名 計 3 名

- 実習内容：①施設・展示・境内(高照神社)等解説
②資料の取り扱いについて(武具等)
③石造物調査・拓本採取

(6) 出版物等の作成

○出版物実績:なし

○たか丸くん 歴史館バージョン 2 種類を活用し、クリアファイルのデザイン(4 種)を作成

(7) 資料寄贈・寄託等

①寄贈: 9 件 5 7 7 点(「刀 銘 津軽住人國俊造之」、「槍 無銘」、「太刀 銘 友成作・太刀 銘 真守 刀 劍押形」、「兜・胴・頬当・袖・籠手・佩楯・脛当・マンチラ」、「刀 銘 伯耆守藤原信高・槍 銘 山城守藤原國重・槍柄」、古文書類 4 件)

※令和 4 年度寄贈古文書類 4 件のうち、現在整理作業中のため点数未確定のもの 1 件あり。分量としては段ボール箱 3 箱分。

※【補足】令和 3 年度寄贈古文書類 1 件が整理途中で、1 3 3 点のうち 4 7 点が目録未作成。

②寄託: 1 件 2 点(市指定有形文化財「色々威黒漆塗具足」・「色々威具足」〔令和元年に市立博物館より寄託先変更、単年での寄託更新〕)

③購入: 1 件 1 点(郷土刀工による作刀として「薙刀 銘 陸奥守橋盛宗」を購入)

(8) 特別利用等

①資料閲覧・撮影: 0 件

②画像データ提供: 5 件 6 点(津軽信政絵像〔『歴史と人物』に掲載のため〕、刀 無銘(津軽為信慰打)〔家史調査に使用のため〕、奉獻物品録(明治 10 年 12 月表紙、小友千賀之助に関する箇所)〔家史調査に使用のため〕、津軽信政絵像〔C S ディスカバリーチャンネル「明日への扉」で放映のため〕、弘前城図(慶応の絵図)〔陸奥新報別刷り「弘前さくらまつり特集」内に掲載のため〕)

③資料掲載・放映: 1 件 1 点(武教全書〔2023 年度忍者・忍術学講座で発表するため〕)

④資料貸出: 0 件

(9) その他の事業等

①団体客等への解説対応

希望する団体等に対し、学芸員による解説を実施(原則予約制)。

実績: 20 回 550 人

上記のうち市内小中学校関係の観覧対応 実績: 6 回 367 人

		学年別	人数	事業別	事業とりまとめ担当等
1	時敏小	5 年生	6 7 人	史跡等公開活用事業	文化財課
2	時敏小	6 年生	6 5 人		
3	常盤野小	5・6 年生	5 人		
4	岩木小	6 年生	8 1 人	3 館学校観覧事業 (博物館・歴史館・れんが倉庫美術館)	博物館
5	裾野中	1 年生	1 2 人		
6	第四中	2 年生	1 3 7 人	校外学習(学校個別)	

②レファレンス対応

窓口・電話・メール・文書等により寄せられた質問等について、学芸員が回答する。

実績: 70 件

③看板等の設置

○市役所本庁舎玄関前に、展覧会毎に PR 用看板を設置 (4 回)。

○市のマスコットキャラクターたか丸くんのデザインを取り入れたのぼりを境内駐車場から歴史館への通路に 3 本、歴史館建物管理用地道路入口に 1 本設置し PR

④ポスター、絵葉書等販売状況

種 類	税込単価(円)	R4 年度販売実績
名品図録	1,000	9 2 冊
クリアファイル 2 種類 太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	200	1 2 4 枚
絵葉書 3 種類 津軽信政着用具足レプリカ・太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	100	3 8 枚
各展覧会ポスター	400	2 1 枚

-----メモ-----

案件 2

(令和5年度事業計画並びに経過報告)

R5.10月末現在(一部除く)

案件 2 令和5年度事業計画並びに経過報告について

(1) 歴史館利用状況

区 分	人数、件数	備 考
展覧会入館者数	5,112人	目標 7,000人 (73%)
イベント参加者	312人	流鏑馬 (1日) 312人
歴史館講座参加者	34人	5/27 第1回 18人 11/11 第2回 16人 全2回中2回実施
出前講座参加者数	28人	
特別利用件数	2件	資料閲覧 1件87点、 資料掲載・放映 1件1点
合 計	5,486人 2件	

(2) 展覧会関係 (年4回の展覧会を開催)

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
帰ってきた！ 高岡の森どうぶつ園 【4/10～7/2】	81日	古来よりヒトの身近にあった動物たちについて、江戸時代における関わりを示す歴史資料や、その愛らしい姿を描いた絵画資料等により紹介。 (* 令和3年度冬の企画展リバイバル)
武具刀剣展 【7/19～9/15】	58日	武家を象徴する刀剣や甲冑、弓矢・馬具など、弘前藩主津軽家や藩士たちゆかりの品を紹介。
暮らしを彩る武家の道具展 【10/2～12/17】	75日	弘前藩主らの身近に置かれ、多彩な趣向が凝らされた屏風や文具などの調度品や書画などを紹介。
高照神社絵馬展 【1/8～3/17】	68日	弘前藩主およびその家族、重臣らが高照神社に奉納した大絵馬を中心に、その他関連する古文書なども紹介。
合 計	282日	

【展覧会入館者詳細】

区 分		帰ってきた！ 高岡の森どう ぶつ園	武具刀剣展	暮らしを彩る 武家の道具展	高照神社絵馬展	計
開館日数（日）		81日	58日	29日		168日
観覧者総計（人）		1,997人	1,980人	684人		4,661人
一日当り観覧者数（人）		25人	34人	24人		28人
市内小中学校団体観覧者数		139人		40人		179人
うち学校数		2校		1校		3校
有 料	人数	1,292人	1,551人	460人		3,303人
	有料観覧者割合	64.7%	78.3%	67.3%		70.9%
無 料	人数	705人	429人	224人		1,358人
	無料観覧者割合	35.3%	21.7%	32.7%		29.1%

10月末現在↑

(3) イベント開催

①流鏑馬（高照神社馬場跡）

○実施日:令和 5 年 6 月 2 5 日（日）1 回目 9:30～、2 回目 12:15～

○内容 天地淨射の儀（鳴鏑 4 射）、流鏑馬、笠懸、馬上武芸

○イベント観覧者：3 1 2 人（歴史館入館者：1 1 3 人）

これまでの来場者数 約 300～500 人

※市ホームページ、広報ひろさき、ポスターで周知。



○イベントの動画がライブニュース アップルストリームにアップロード

○アンケートを web 限定で配布プログラムに QR コードを付けて引き続き実施… 1 9 人から回答

結果

①初めて流鏑馬を観覧…68%

②イベント前後で歴史館に入館…57%

③満足…89%

④今後歴史館に来館する可能性は「高い」を 10 段階中 7 以上選択した人…63%

⑤自由記載(抜粋)

●初めてづくしだったので、こういった歴史は何も知らないのもっと知りたいと思いました。

●流鏑馬を毎年楽しみにしています。無理を承知で言いますが、ぜひ年 2 回くらい開催してほしいです。流鏑馬に参加された騎手の方々との交流なども、流鏑馬終了後にお時間などありましたらぜひお願いいたします。

②その他

これまで実施してきたロビーコンサート、抜刀道及び古武道演武イベントについては、予算の都合上、やむを得ず当分の間原則休止することとした。

(4) 講座等

①歴史館講座

歴史館に係るテーマで講座を2回開催。

開催日	テーマ	講師	募集定員	参加者数 (当日入館者数)
5/27(土) (第1回)	弘前藩とかかわった野生動物の話	竹内 健悟 氏 (青森大学客員教授)	25 名	18人 (61人)
11/11(土) (第2回)	東北の馬からみた生類憐みの令 -弘前藩庁日記などから読み解く-	兼平 賢治 氏 (東海大学文学部准教授)	30 名	16人 (33人)

会場：映像・講話室（電話申込）※第1回目のみ予約制無料送迎車を運行（市立観光館⇄歴史館）

募集定員：通常30名定員のところ、コロナ対応により一部調整

②刀剣保護プロジェクト 刀剣鑑賞基礎講座

○実施日：1回目 令和5年8月19日(土) 14:30～15:10

2回目 令和5年8月27日(日) 10:30～11:30

○内容：刀剣展に展示されている刀剣の中から選りすぐりの刀剣について、若手刀剣愛好家(日本美術刀剣保存協会青森県支部所属)がその目線による鑑賞ポイントや魅力などを分かりやすく説明するもの

○参加者：1回目 17人（歴史館入館者：55人）

2回目 37人（歴史館入館者：93人）

○アンケート結果より抜粋

●刀剣の見方というのはなかなか知る機会がないのでとても良い体験になった。

●刀の特徴だけでなく、実物を目の前にして特徴などを聞いて、今まで以上に刀剣を身近に感じることができました。

③弘前市出前講座等の講師派遣

・弘前市出前講座 No.64 「名君信政と高照神社の宝物」

実績:1回 28人（依頼団体…弘前古文書読解会）

(5) 博物館実習の受け入れ

実習期間：令和5年10月17日（火）～22日（日）のうち、歴史館分は10月18日（水）～10月19日（木）

所属大学・参加人数等：茨城大学1名 国士館大学1名 弘前学院大学2名 計4名

実習内容：①施設・展示・境内（高照神社）等解説

②資料の取り扱いについて（武具等）

③石造物調査・拓本採取 ※雨天のため実施出来ず

(6) 出版物等の作成

○出版物実績：なし

○前年度作成のたか丸くん 歴史館バージョンデザインを活用したクリアファイルを作成、6月中旬から販売開始

(7) 資料寄贈・寄託等

- ①寄贈: 2 件 2 3 点 (「古写真・任命状・証明書等」、「紺糸威具足 (具足櫃附属)・鏡」)
- ②寄託: 2 件 4 点 (市指定有形文化財「色々威黒漆塗具足」・「色々威具足」〔令和元年に市立博物館より寄託先変更、単年での寄託更新〕、県重宝「日本刀 銘 相州綱廣」・市指定有形文化財「刀 銘 陸奥大掾橘盛宗」)

(8) 特別利用等

- ①資料閲覧・撮影: 1 件 8 7 点 (「武教全書」等〔近世兵学思想の展開を検討するため〕)
- ②画像データ提供: 0 件
- ③資料掲載・放映: 1 件 1 点 (「貞享四年五月 鼻和庄藤代組石渡村百姓■■■■帳」〔『陸奥新報』に掲載するため〕)
 ※「■」は判読不能文字を示す。
- ④資料貸出: 0 件

(9) その他の事業等

- ①団体客等への解説対応
 希望する団体等に対し、学芸員による解説を実施 (原則予約制)。
 実績: 20 回 461 人
 上記のうち市内小中学校関係の観覧対応:
 実績: 3 校計 3 回 195 人

		学年別	人数	事業別	事業とりまとめ担当等
1	和徳小	6 年生	43 人	史跡等公開活用事業	文化財課
2	北辰中	1 年生	41 人	校外学習(学校個別)	
3	第四中	2 年生	111 人		

- ②レファレンス対応
 窓口・電話・メール・文書等により寄せられた質問等について、学芸員が回答する。
 実績: 54 件

- ③看板設置等
 - 市役所玄関に、展覧会毎に PR 用看板の設置を継続。
 - 市のマスコットキャラクターたか丸くんのデザインを取り入れたのぼりを境内駐車場から歴史館への通路に 3 本、歴史館建物管理用地道路入口に 1 本設置し PR

④ポスター、絵葉書等販売状況

種 類	単価(円)	R5 年度 10 月末までの 販売実績
名品図録	1,000	60 冊
クリアファイル 2 種類 太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	200	65 枚
クリアファイル 1 種類 たか丸くん	300	45 枚
絵葉書 3 種類 津軽信政着用具足レプリカ・太刀 銘 友成・太刀 銘 真守	100	29 枚
各展覧会ポスター	400	16 枚

案件 3 令和 6 年度事業計画について

(1) 歴史館利用見込み

区 分	目標値	備 考
展覧会入館者数	7,000人	
イベント参加者	500人	流鏑馬 (1日) 500人
歴史館講座参加者	90人	30人×3回=90人
合 計	7,590人	

(2) 展覧会関係 (年 4 回の展覧会を開催)

春…刀剣展、 夏…絵画展、 秋…高照神社展、 冬…絵図展